

1 単 元 はたらく人とわたしたちの暮らし

2 情報の交流を行う場面と方法【まとめる場面】

スーパーマーケットの工夫を調べるグループを「ねだん」「並べ方」「通路」「安心・安全」に分けて、それぞれの工夫についてまとめる場面で情報を共有する。

3 情報の交流により期待される効果

自分が調べた工夫を伝えたり、友達の調べた工夫を聞いたりすることで、気付きを広げたり、深めたりすることができる。

4 指導計画（13時間完了）

- (1) 販売や生産の仕事に携わる人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) スーパーマーケットの中の様子を調べよう・・・・・・・・・・ 1時間
- (3) スーパーマーケットの見学計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (4) スーパーマーケットの見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- (5) スーパーマーケットで働く人の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間（本時1／3）
- (6) よく利用する店を調べよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

5 本時の指導

- (1) 目標
 - 自分が調べた工夫を、友達に伝えることができる。
 - 友達が調べた工夫を聞き、自分の知らない工夫に気付くことができる。
- (2) 準備
 - 子ども：ワークシート
- (3) 指導過程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
5分	1 本時のめあてを知る。	○ スーパーマーケットの工夫について調べてきたことを伝え合い、自分の知らない工夫を見つけることを確認する。	
15分	2 スーパーマーケットの調べてきた工夫について伝え合う。	○ グループで1人ずつ発表をさせ、自分が調べてきた工夫と比べさせる。 ○ 自分が調べたものと比べながら、足りない情報はワークシートに書き足しをさせる。	○ 自分が調べた工夫を、友達に伝えることができているか、子どもたちの話し合いの様子からつかむ。 ○ 友達が調べてきた工夫を聞き、新たな工夫に気付いているか、子どもたちの話し合いの様子からつかむ。

20分	3 グループで分かったスーパーマーケットの工夫について1枚のワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えたいという思いが強い工夫についてまとめさせる。 ○ グループ全員が、同じ情報を知っている状態なので、1人だけで考えるのではなく、グループ全員の意見を聞いてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えたいという思いが強い工夫から書いているか、子どもたちの話し合いの様子からつかむ。
5分	4 本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を行うことで、新しく気付いたことは何かを答えさせる。 	

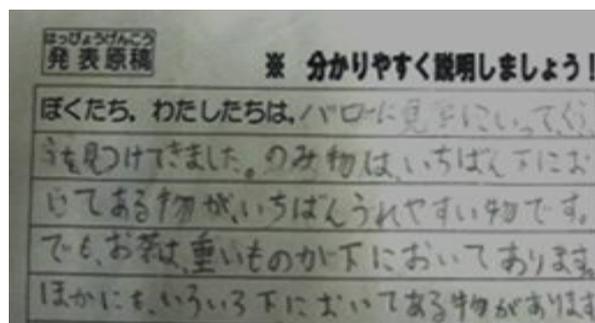
6 実践の様子

子どもたちに、「自分の見つけてきた工夫を1人ずつ発表しましょう。また、友達の発表を聞いて書いてない工夫があれば、書き足しましょう」と伝えた。すると、子ども達は、自分が見つけてきた工夫をプリントを見ながら「それぼくも見つけた」や「私と同じ」と同じ工夫に気付くことができた。また、「その工夫、気付かなかった」と友達の発表を聞くことで自分が知らなかった工夫に気付くこともできた。



情報の交流を行う様子

次に、「発表する内容を決めましょう。伝え合った工夫をワークシートにまとめていきましょう」と伝えた。子どもたちは、どのような工夫を発表するのか、友達と話し合いながら「この工夫は伝えたい」という思いが強い順にワークシートにまとめていくことができた。



考えが書き込まれたワークシート

7 成果と課題

- 調べたスーパーマーケットの工夫について、伝え合うことで、全員の情報を共有し、自分の調べたことを確認したり、新しいことに気付いたりすることができた。
- グループメンバーと、どんな工夫を発表するか、自分の思いをもちながら話し合いを進め、まとめていくことができた。
- グループ内で情報交流をすることができたが、他のグループとの情報交流ができなかった。今後は他のグループとも情報の交流を行うことで、さらに気付きを広げたり深めたりしていきたい。